

## 令和 2 年度家庭エコ診断制度の事業成果について

### 1. 令和 2 年度 都道府県ごとの推定 CO<sub>2</sub> 排出割合

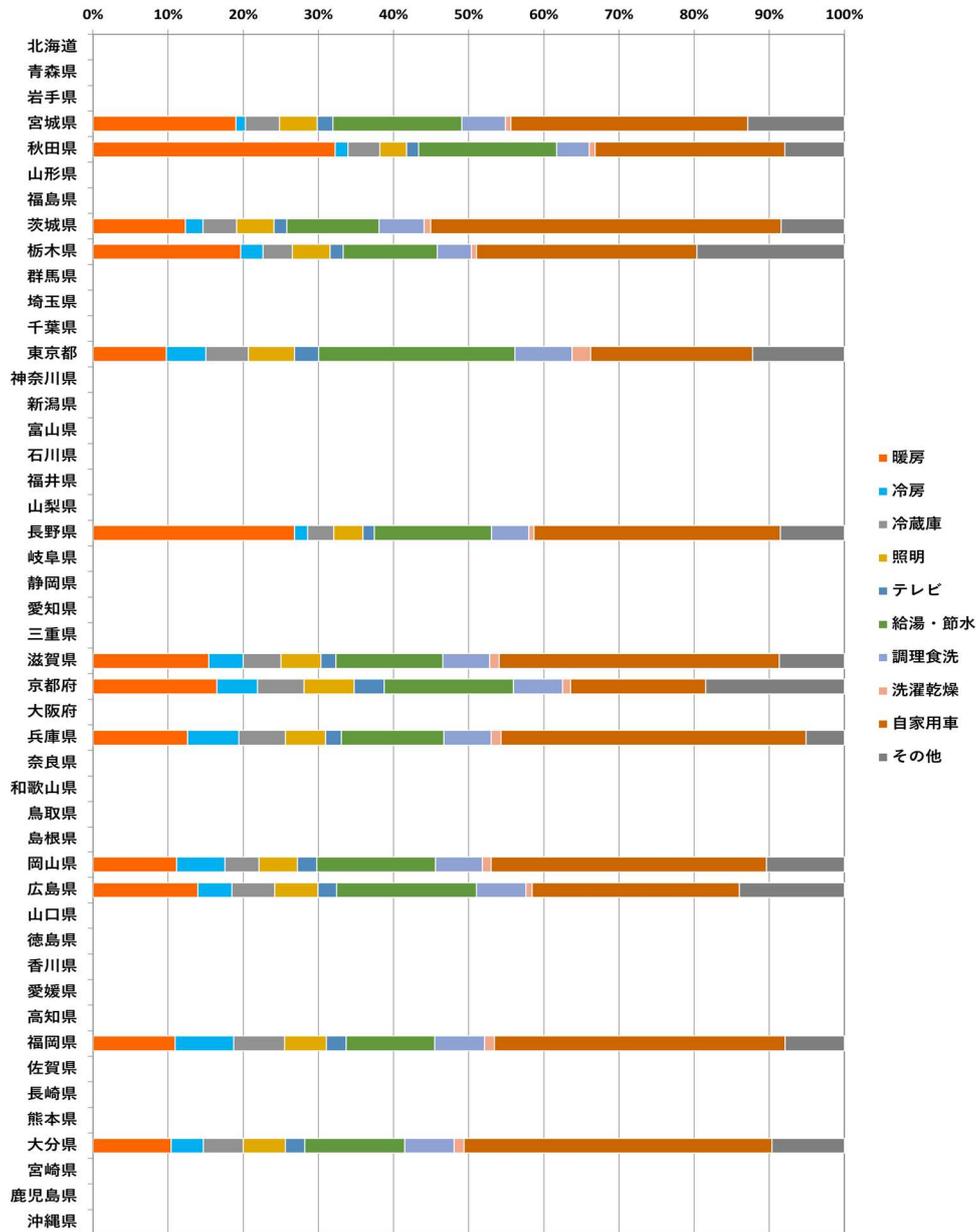


図 1 都道府県ごとの推定 CO<sub>2</sub> 排出割合

※1 うちエコ診断で得られる世帯別用途別 CO<sub>2</sub> 排出量のデータを都道府県別世帯人数別に推計し、都道府県別 世帯人数別の CO<sub>2</sub> 排出原単位を作成した上で、都道府県ごとの世帯人数別世帯数(総務省国勢調査：平成 27 年度)を乗じることにより、都道府県ごとの家庭からの排出割合を推計しました。

## 2. 令和2年度対策の選択数別の実施率一覧（上位20位）

順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	203	192	95%
2	給湯節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	192	161	84%
3	給湯節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	179	116	65%
4	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	167	153	92%
5	冷蔵庫	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	129	56	43%
6	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	100	90	90%
7	給湯節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	98	60	61%
8	冷暖房	暖房をする時間を1時間短くする	95	79	83%
9	給湯節水	シャワーの時間を3割減らす	77	66	86%
10	自家用車	目的地までの車の利用を半分にする	68	56	82%
11	照明	部屋の照明をLEDシーリングライトに付け替える	67	48	72%
12	自家用車	目的地まで1割程度、車でなく徒歩や自転車で行く	67	47	70%
13	冷暖房	冷房で、扇風機を使いエアコン利用を3割減らす	65	45	69%
14	冷暖房	冷房の設定温度を控えめにする	63	56	89%
15	冷蔵庫	冷蔵庫の設定を弱くする	61	46	75%
16	冷暖房	家族だんらんで一部屋で過ごすようにする	60	54	90%
17	冷蔵庫	2台目の冷蔵庫、ストッカー（冷凍庫）を止める	60	19	32%
18	給湯節水	お風呂のお湯を少なめにして半身浴をする	60	46	77%
19	冷暖房	エアコンを使用しないシーズンはコンセントからプラグを抜く	56	40	71%
20	自家用車	タイヤの空気圧を適正に保つ	53	47	89%

対策選択数が多い対策の上位20項目とそれぞれの対策実施率を取りまとめました。

自家用車、給湯節水、冷暖房分野に関する対策が多く選択される傾向が見られ、また、家電や設備の買い替えに関する対策については、冷蔵庫、節水シャワーヘッド、照明が上位20項目に入っていました。特に、冷蔵庫の買い替えに関する対策の選択数が多く、要因としては、コロナ禍において緊急事態宣言などにより在宅や自宅で調理する機会が増えたため、冷蔵庫の光熱費に関する関心が高まったと想定されます。

### 3. CO<sub>2</sub> 排出削減量、および節約金額（令和 2 年度）

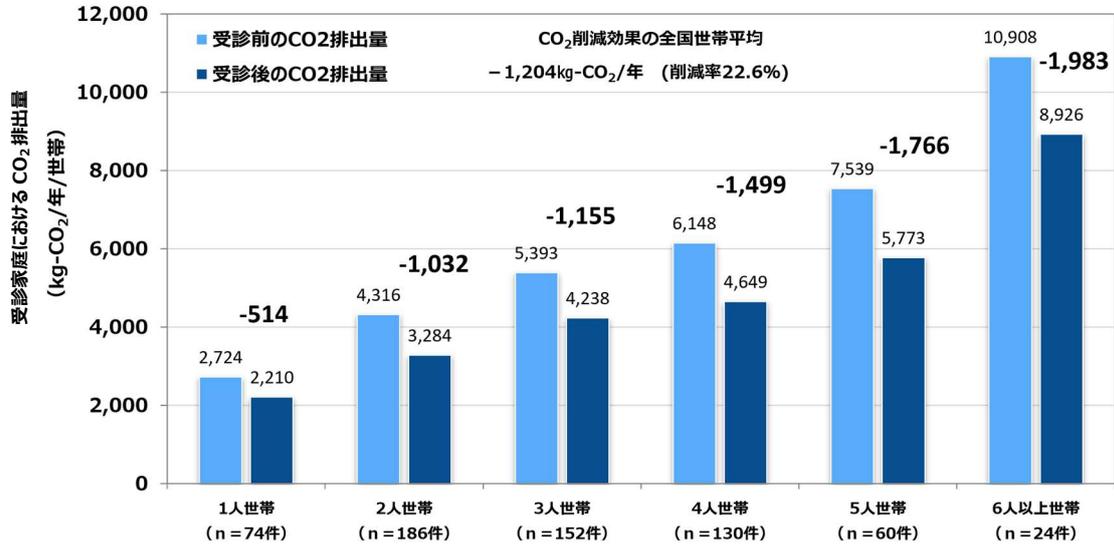


図 2 世帯人数別の診断前後の CO<sub>2</sub> 排出量の比較

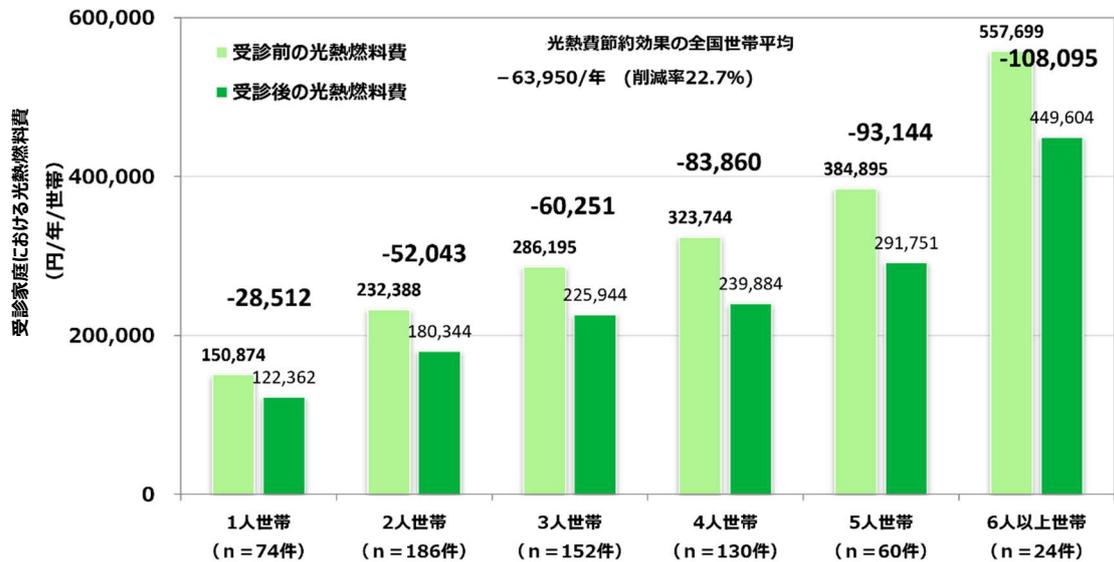


図 3 世帯人数別の診断前後の光熱燃料費節約金額